

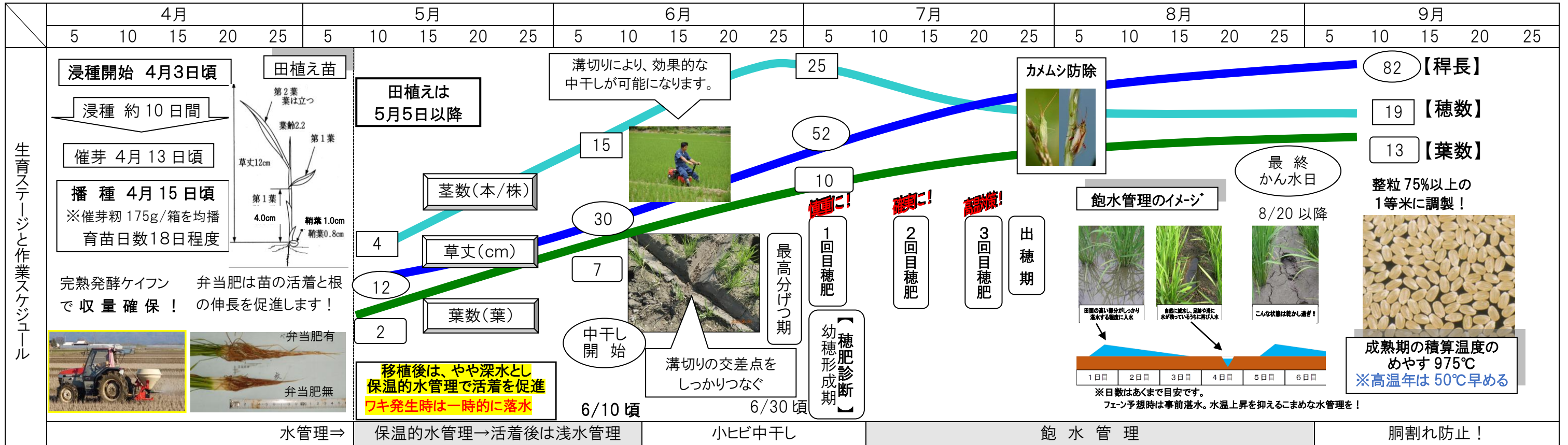
変動気象に耐えられる後期栄養・土づくりと基本技術の実践で収量と品質を安定確保！

【こしいぶき目標値: 1等米比率 90%以上、整粒歩合 75%以上、玄米タンパク質 6.2%】

基本技術の確実な実践で変動気象に対応した越後ながおか米の高品质安定生産を図りましょう！

■目標収量と収量構成要素

収量 (kg/10a)	穂数		1穂粒数 (粒)	㎡当り粗数 (千粒)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)
	(本/㎡)	(本/株)				
540	350	19(60株セット)	80	28	88	22.0



■推奨肥料と施肥の目安

区分	肥料名	10a 当り施用量		
		砂質土壌	中間	粘土質土壌
土づくり	みやぎ有機 (完熟発酵ケイフン) 等	75kg	75 kg	45kg
	牛ふん堆肥、豚ふん堆肥 等	0~500kg		
育苗	①みつパワー ②よりん(粒) ③ニューマスター ④農力アップ ⑤アイアンマスター ⑥シリカリュウ17	①60~120kg ②40~80 kg ③30kg ④60~100 kg ⑤60~100kg ⑥60~100kg		
	稚苗苗代配合	30g/箱 × 18箱*		
田植前追肥	くみあい液肥2号 又は ベんとう肥	270g(18~23箱) 又は 360g(18~23箱)		
基肥	高度化成オール14(国産) 等	30kg		20kg
全量基肥肥料	早生ス・パ・元肥パワフル30 等	30kg		20kg
ケイ酸質肥料 追肥・根活性	ス・パ・シリカ、けい酸加里プレミア 34、ウオーターシリカ、(ファイト・アップ)	15~40kg (ファイトアップ 500g1袋10錠)		
穂肥	穂肥520号	1回目;出穂23日前頃	穂肥診断により施用 10kg	
		2回目;出穂14日前頃	原則施用 10kg	
		3回目;出穂3日前頃迄	高温予想・葉色低下時 7kg 追加施用	

■推奨農薬 (予防重点で使用してください。)

区分	推奨農薬名	備考	
種子消毒剤	タフブロック 又は モミガードC 水和剤 等	(参考) JA育苗センターの苗は (温湯+タフブロック)種子消毒済みで、初期病害虫予防剤(ゼロカウント剤)入り。いもち病予防の為、オリゼメート剤の箱施用を推奨します。	
初期病害虫予防剤	GPオリゼリティア箱粒剤 等		
水田除草剤	初期除草剤		ソルネット1キロ粒剤 又は エリジヤン乳剤・ジャンボ 等
	一発処理剤		カウンシルエナジー1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ ウィニングラン1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ 等
	ヒエ専用 中期除草剤		クリンチャー1キロ粒剤・EW・ジャンボ 等
	広葉雑草 中期除草剤		クリンチャーバス ME 液剤 ウィドコア1キロ粒剤・ジャンボ SD・200SD 粒剤 ケパドギア1キロ粒剤・ジャンボ ロイヤント乳剤 等
いもち病予防剤	フジワン粒剤・1キロ粒剤・パック・乳剤・水和剤等		
紋枯病予防剤	フジワンモンカット粒剤		
紋枯病予防剤	モンカット粒剤・フロアブル モンガリット1キロ粒剤 等		
カメムシ類の防除	スタークル液剤 10、スタークル粒剤・豆つぶ 等		
稲こうじ病予防剤	ドイツボルドーA 又は Zボルドー(粉剤 DL・水和剤)		
紋枯病防除剤	バリダシン液剤 5・粉剤 DL・エアー 等		
いもち病防除剤	ブラシフロアブル・ゾル 等		

※農薬を使用する際は、必ず最新の使用登録内容を守ってください。

(農薬確認令和8年3月2日)

①生産工程管理において、著しくJAの栽培指導を逸脱した場合は、「JA米」としての取扱いをしません。 ②栽培管理における各作業や、肥料・農薬の使用日・使用量等は「栽培管理記録簿」に記載し、指定された時期までに必ず提出して下さい。 ③「栽培管理記録簿」とあわせて、種子の保証書や生産資材の購入伝票を保管してください。 ④JA米としての要件は、JAと出荷契約を締結、種子更新100%、2等以上1に格付けされた米穀、栽培管理記録簿を確認した米穀、検査時水分15.5%以下です。 ⑤JA米とJA米以外の米穀は区分して収穫・出荷をお願いします。⑥JA米として出荷された米穀は、JAでの確認後、JA米印が押印され、JA米以外の米穀と区分して扱われます。 ⑦なお、JAの確認により、JA米の要件を満たさないと判断された場合は、JA米として流通されません。